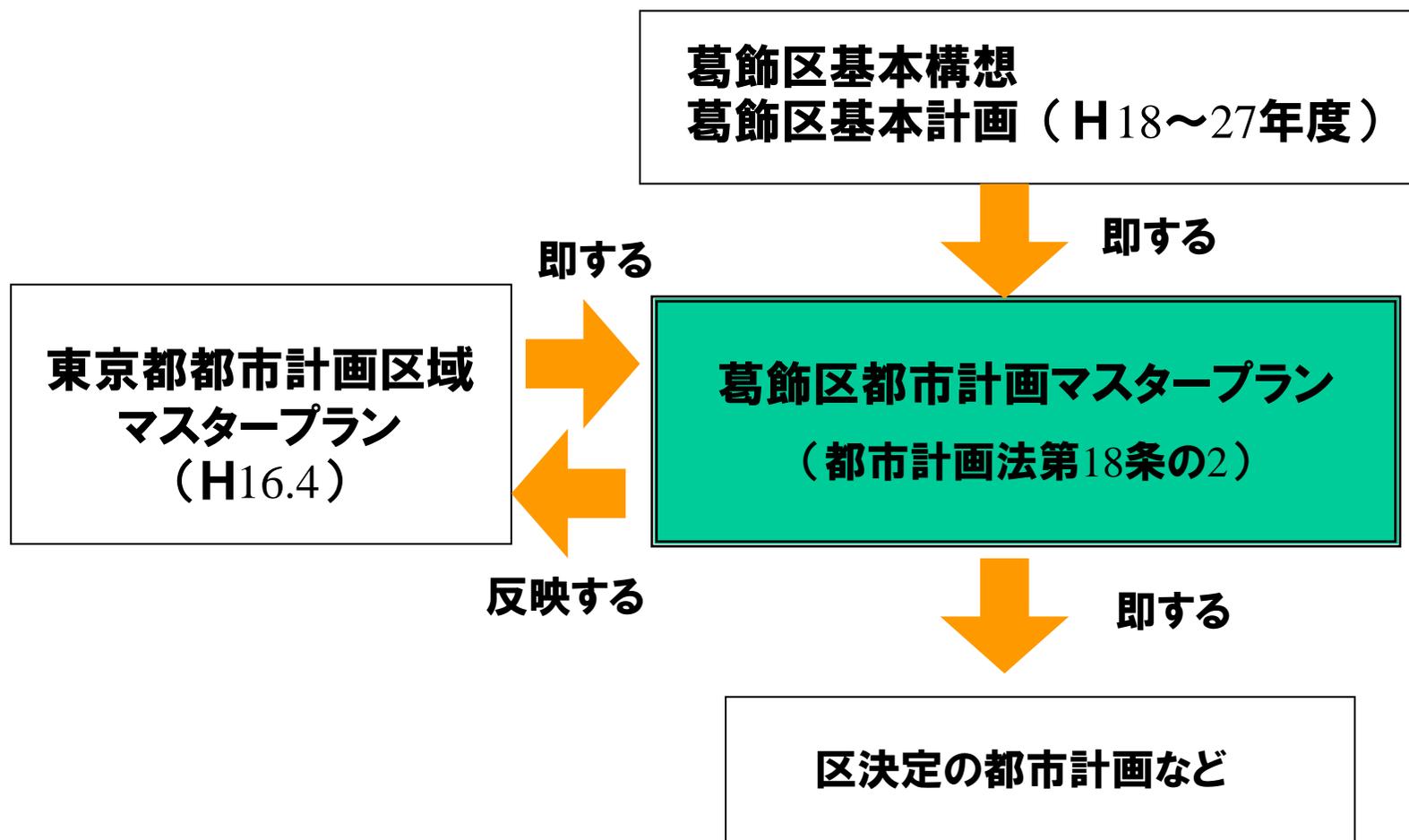


都市計画マスタープランとは

●都市計画マスタープランの位置付け

都市計画マスタープランは、区の基本構想、基本計画や東京都の都市計画の方針に即しながら、区の定める都市計画の方針を定めるものです。



●都市計画マスタープランの役割

①都市の将来像の明示

②市町村が定める都市計画の方針

③都市計画の総合性・一体性の確保

④住民の理解・具体の都市計画の合意形成の円滑化

(社)日本都市計画学会 「都市計画マニュアル」より

●現・都市計画マスタープランの主な構成

1. 都市計画マスタープランの基本方針

- まちづくりの基本理念
- まちづくりの目標
- 将来都市構造

2. 全体構想

- 人情都市かつしかを形成する方針(テーマ別方針)
- 都市構造整備の方針(部門別方針)

3. 地域別構想

- 水元地域
- 金町・新宿地域
- 柴又・高砂地域
- 亀有・青戸地域
- 南綾瀬・お花茶屋・堀切地域
- 立石・四つ木地域
- 奥戸・新小岩地域

4. 都市計画マスタープラン実現の方策

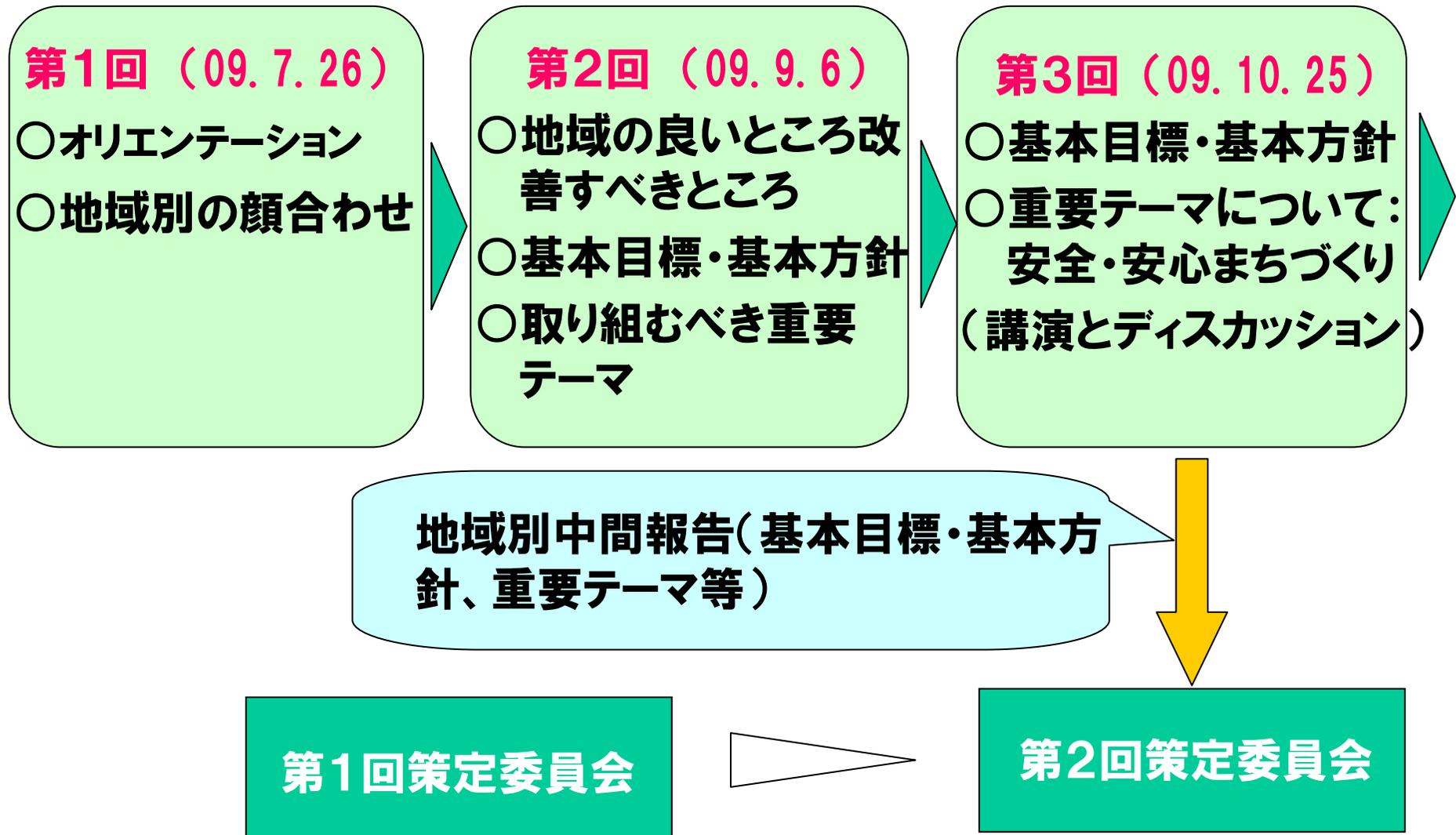
●改定都市計画マスタープランの目標年次

概ね20年後(平成42年)の地域の姿を描きます

全体策定スケジュールと
勉強会スケジュール

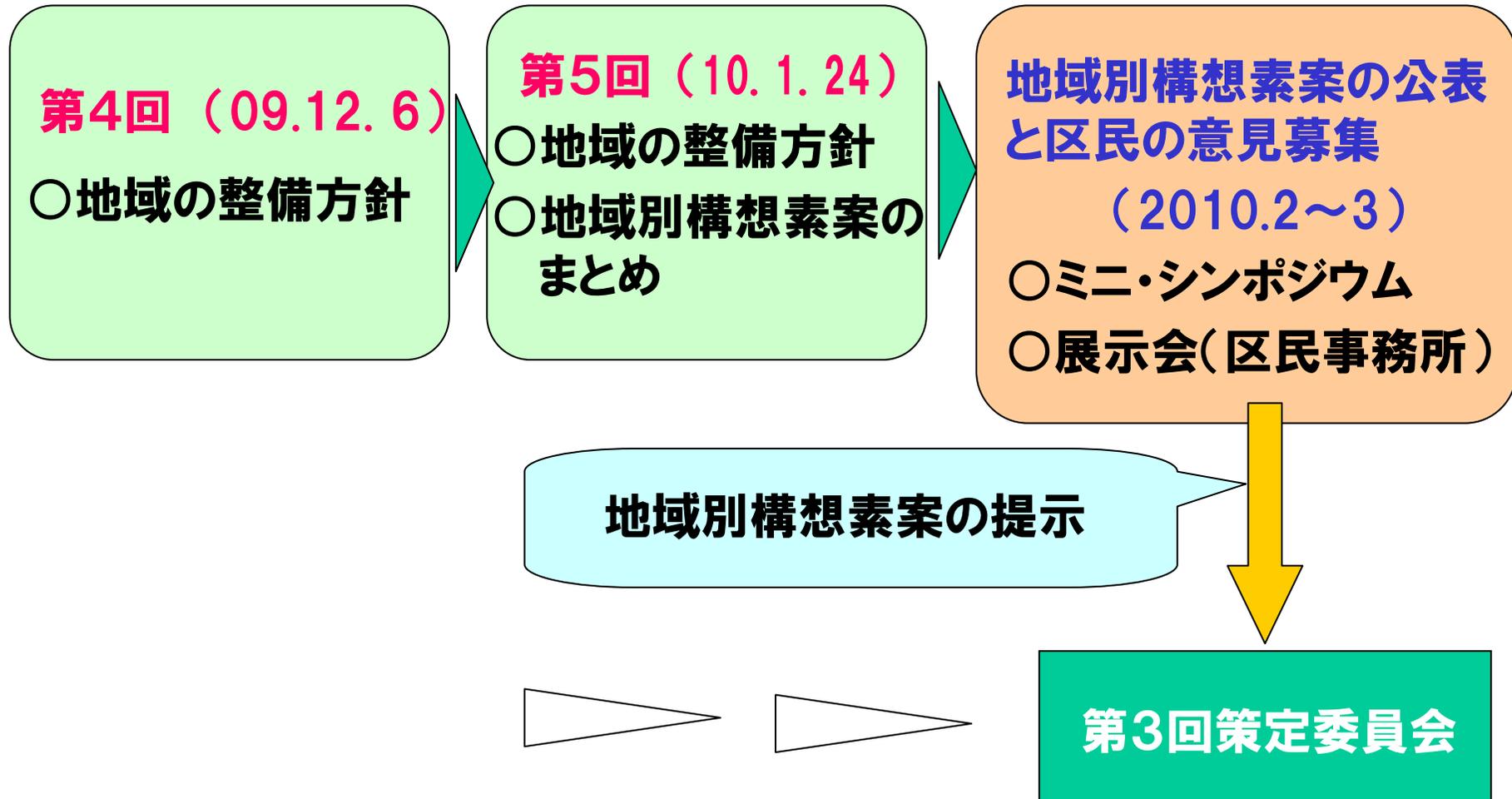
- 地域別構想の検討が先行するボトムアップ型の策定を行います。
- 区の計画として策定するために、策定委員会を設置して進めます。

スケジュール（その1）



スケジュール（その2）

- 来年の1月を目処に地域別構想の素案を作成し、それを公表して広く区民の方々の意見を聞く機会を設けます。



スケジュール（その3）

- 来年の5月を目標に、地域別構想案のとりまとめを行います。
- この構想案をもとに、策定委員会、パブコメなどを経て、区の計画として策定します。

